

坂井北部地区「耕作放棄地再生活動(保育園児との芋ほり)」

令和5年10月13日(金) 午前8:30から福井県あわら市二面地内で行われた、坂井北部土地改良区主催の坂井北部耕作放棄地再生活動に70人(うち会員は6人)参加しました。

坂井北部土地改良区は、平成21年度から高齢化等により耕作放棄された農地の再生を目的として関係機関に再生活動を呼びかけ、農地を活用して将来を担う子供達(保育園児)とともに作物の植付・収穫による農業体験を通じた情操教育の活動を行っております。

NPO 美しい田園21北陸支部は平成22年から本活動に参画しており、ここ数年のコロナ禍では参加する園児や NPO 会員の参加人数を制限してきましたが、今回の収穫活動では制限無しに活動することができました。

今回のさつま芋の収穫には、あわら市公立保育園の「あわら子供園」19名と「金津子供園」32名の5歳児たちが参加しました。大勢の園児の参加ということもあり、9時から「あわら子供園」、10時30分から「金津子供園」を対象としてダブルヘッダーによる収穫が行われました。



「あわら子供園」の園児たちと NPO 会員 金津子供園」の園児たちと NPO 会員

NPO 北陸支部からは6名が参加して、これまで培った農作業技術をフルに発揮し、園児たちが掘りやすいよう予めスコップで掘り起こしました。土を掘る音に混じり、さつま芋に当たる音も少しだけ聞こえたように感じましたが何とか作業を進め、その後に園児たちと一緒に楽しく芋ほりすることができました。

今年は記録的な猛暑が長く続いたこともあり、さつま芋の収穫量は平年の半分くらいでしたが、芋を持ち帰った園児たちは楽しく芋ほりしたことをご家庭で話されるでしょう。



芋ほりは楽しい思い出になったようですね

楽しく芋ほりする園児たちを見て、参加した NPO 会員の皆さんも少し力が入ってしまいました。

流石にダブルヘッダーは平均年齢の高い NPO 会員には、きつかったでしょうか。
(来年も宜しくお願いします)